

Sun. Jun 12, 2022

第9会場

交流集会

[EM6] コロナ禍を経験して、クリティカルケアの口腔ケアを再考する

委員会:口腔ケア委員会

9:00 AM - 10:30 AM 第9会場 (総合展示場 F展示場)

- [EM6-01] 口腔ケア委員会交流集会 コロナ禍を経験して、クリティカルケアの口腔ケアを再考する
- 浅香 えみ子¹、安藤 有子²、佐藤 憲明³、石井 恵利佳⁴、川原 千香子⁵、剣持 雄二⁶、佐藤 央¹、門田 耕一⁷
- (1. 東京医科歯科大学病院、2. 関西医科大学附属病院、3. 日本医科大学付属病院、4. 獨協医科大学埼玉医療センター、5. 愛知医科大学、6. 東海大学医学部付属八王子病院、7. 岡山大学病院)
- 9:00 AM - 10:30 AM

第3会場

交流集会

[EM7] 世界と繋がるには

委員会:国際交流委員会

12:20 PM - 1:40 PM 第3会場 (国際会議場 国際会議室)

- [EM7-01] 国際交流委員会交流集会 世界と繋がるには
- 櫻本 秀明¹、卯野木 健²、池松 裕子³、北山 未央⁴、佐藤 隆平⁵ (1. 日本赤十字九州国際看護大学、2. 札幌市立大学、3. 名古屋大学大学院医学系研究科、4. 金沢医科大学病院、5. 神戸市看護大学)
- 12:20 PM - 1:40 PM

第7会場

交流集会

[EM8] ケアとキュアの融合と継続を目指す臨床判断能力を育てる

委員会:教育委員会

12:30 PM - 1:50 PM 第7会場 (総合展示場 314-315会議室)

- [EM8-01] 教育委員会交流集会 ケアとキュアの融合と継続を目指す臨床判断能力を育てる
- 岩元 美紀²、近藤 ゆかり²、西村 祐枝²、路川 恵利加³、上澤 弘美³、大田 麻美⁴、益田 美津美¹、石川 幸司⁵
- (1. 名古屋市立大学大学院看護学研究科、2. 岡崎市立市民病院、3. 総合病院土浦協同病院、4. 伊勢赤十字病院、5. 北海道科学大学保健医療学部看護学科)
- 12:30 PM - 1:50 PM

第8会場

交流集会

[EM9] 患者をまもる 医療者をまもる 社会をまもる COVID-19委員会活動報告と Q&A

委員会:COVID-19対策委員会

1:50 PM - 3:20 PM 第8会場 (総合展示場 E展示場)

- [EM9-01] COVID-19委員会交流集会 患者をまもる 医療者をまもる 社会をまもる COVID-19委員会活動報告と Q&A
- 藤野 智子¹、○古賀 雄二²、卯野木 健³、櫻本 秀明⁴、古厩 智美⁵、塚原 大輔⁶ (1. 聖マリアンナ医科大学病院、2. 川崎医療福祉大学、3. 札幌市立大学、4. 日本赤十字九州国際看護大学、5. さいたま赤十字病院、6. 株式会社キュアメド)
- 1:50 PM - 3:20 PM

交流集会

[EM6] コロナ禍を経験して、クリティカルケアの口腔ケアを再考する

委員会:口腔ケア委員会

Sun. Jun 12, 2022 9:00 AM - 10:30 AM 第9会場 (総合展示場 F展示場)

[EM6-01] 口腔ケア委員会交流集会 コロナ禍を経験して、クリティカルケアの口腔ケアを再考する

○浅香 えみ子¹、安藤 有子²、佐藤 憲明³、石井 恵利佳⁴、川原 千香子⁵、劔持 雄二⁶、佐藤 央¹、門田 耕一⁷ (1. 東京医科歯科大学病院、2. 関西医科大学附属病院、3. 日本医科大学付属病院、4. 獨協医科大学埼玉医療センター、5. 愛知医科大学、6. 東海大学医学部附属八王子病院、7. 岡山大学病院)

9:00 AM - 10:30 AM

9:00 AM - 10:30 AM (Sun. Jun 12, 2022 9:00 AM - 10:30 AM 第9会場)

[EM6-01] 口腔ケア委員会交流集会 コロナ禍を経験して、クリティカルケアの口腔ケアを再考する

○浅香 えみ子¹、安藤 有子²、佐藤 憲明³、石井 恵利佳⁴、川原 千香子⁵、剣持 雄二⁶、佐藤 央¹、門田 耕一⁷ (1. 東京医科歯科大学病院、2. 関西医科大学附属病院、3. 日本医科大学付属病院、4. 獨協医科大学埼玉医療センター、5. 愛知医科大学、6. 東海大学医学部附属八王子病院、7. 岡山大学病院)

Keywords: 口腔ケア、口腔ケアガイド、新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症対策において、米国疾病管理予防センター（CDC）は標準予防策に加え、空気感染対策、接触感染対策¹⁾、世界保健機関（WHO）からは、標準予防策に加え、飛沫感染対策、接触感染対策かつエアロゾル発生手技(aerosol-generating procedures)では空気感染対策を用いるような勧告が出ている²⁾。また、日本環境感染学会による医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドにおいては「エアロゾル発生手技（気管挿管・抜管、気道吸引、NPPV 装着、気管切開術、心肺蘇生、用手換気、上部消化管緊急内視鏡、気管支鏡検査、ネブライザー療法、誘発採痰など）においては、N95 マスクを装着する」としている³⁾。従って、短距離で行うエアロゾル発生手技としての口腔ケアを行う際は、飛沫感染対策にとどまらず空気感染対策が推奨される⁴⁾。これらのことから、高密度かつ高頻度にエアロゾルが発生することが懸念される口腔ケアにおいて、従来からの標準予防策、経路別感染対策で使用する PPE の考え方にとどまらない考え方が必要とされ、すでに実践されている施設が多いことが想定される。

当委員会は2021年2月に気管挿管患者の口腔ケアガイドを公表した。時を同じくして新型コロナウイルス感染症は世界規模のパンデミックに拡大し、今日に至るまで我々の日常を脅かしている。本交流集会では、クリティカルケアにおける口腔ケアがコロナ禍を経験して、どのように変化し、どのような工夫がなされているのか、口腔ケア実践ガイドの臨床における価値を基本原則に立ち返り、最善のケアを目指して再考する機会にしたいと考える。

文献

1. CDC : Interim Infection Prevention and Control Recommendations for Healthcare Personnel During the Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Pandemic, Updated Feb. 23, 2021
<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/hcp/infection-control-recommendations.html>
2. WHO : Infection prevention and control during health care when novel coronavirus (nCoV) infection is suspected, Interim guidance <https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/332447/WHO-2019-nCoV-IPC-2020.1-eng.pdf>
3. http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19_taioguide4.pdf
4. 厚生労働省 : 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き 第 5 版, 2021
<https://www.mhlw.go.jp/content/000785119.pdf>

交流集会

[EM7] 世界と繋がるには

委員会:国際交流委員会

Sun. Jun 12, 2022 12:20 PM - 1:40 PM 第3会場 (国際会議場 国際会議室)

[EM7-01] 国際交流委員会交流集会 世界と繋がるには

○櫻本 秀明¹、卯野木 健²、池松 裕子³、北山 未央⁴、佐藤 隆平⁵ (1. 日本赤十字九州国際看護大学、2. 札幌市立大学、3. 名古屋大学大学院医学系研究科、4. 金沢医科大学病院、5. 神戸市看護大学)

12:20 PM - 1:40 PM

12:20 PM - 1:40 PM (Sun, Jun 12, 2022 12:20 PM - 1:40 PM 第3会場)

[EM7-01] 国際交流委員会交流集会 世界と繋がるには

○櫻本 秀明¹、卯野木 健²、池松 裕子³、北山 未央⁴、佐藤 隆平⁵ (1. 日本赤十字九州国際看護大学、2. 札幌市立大学、3. 名古屋大学大学院医学系研究科、4. 金沢医科大学病院、5. 神戸市看護大学)

Keywords: 国際交流、国外学会、WFCCN

国際交流委員会では、交流集会の企画として<世界と繋がるには>をテーマに3つの企画いたしました。遠くて、意外と近い国外の看護！そうした世界中の看護師とつながりながら活動をするためのヒントをご紹介します。

企画1：WFCCNの活動に参加してみよう！

WORLD FEDERATION OF CRITICAL CARE NURSES (WFCCN)をご存知ですか。世界クリティカルケア看護師連盟です。国際交流委員会では、この活動に参加、支援しています。今回交流集会企画として、この活動の報告とWFCCNのご紹介をしたいと思います。その一環として、WFCCN DIRECTOR FOR POLICY AND PARTNERSHIPSである Professor Ged Williamsからのビデオメッセージの紹介もいたします。

企画2：国際学会へ参加してみよう！

みなさん、国際学会に参加したことはありますか。実は国際学会への参加は、それほどハードルが高いものではありません。今回実際に、European society of intensive medicine (ESICM)へ参加し、学会発表された委員の体験談をご紹介します。私も国際学会に参加してみたい、発表してみたいそんなあなた！ぜひ、この企画に参加してみてください。

企画3：国際雑誌に投稿してみよう！

最近よく国際雑誌に投稿し、掲載されたという看護師のSNSをみかけます。英文誌への投稿は身近なものになってきたのではないのでしょうか。こうした英文誌への投稿を通じて、実は日本以外の看護と簡単につながることができます。今回の委員会企画では、実際に投稿を経験した委員の体験談をご紹介します。世界中の看護師と繋がりながら活動することや、世界の研究者と交流をもち研究をすすめるために必要なちょっとしたことをお伝えします。

交流集会

[EM8] ケアとキュアの融合と継続を目指す臨床判断能力を育てる

委員会:教育委員会

Sun. Jun 12, 2022 12:30 PM - 1:50 PM 第7会場 (総合展示場 314-315会議室)

[EM8-01] 教育委員会交流集会 ケアとキュアの融合と継続を目指す臨床判断能力を育てる

○岩元 美紀²、近藤 ゆかり²、西村 祐枝²、路川 恵利加³、上澤 弘美³、大田 麻美⁴、益田 美津美¹、石川 幸司⁵ (1. 名古屋市立大学大学院看護学研究科、2. 岡崎市立市民病院、3. 総合病院土浦協同病院、4. 伊勢赤十字病院、5. 北海道科学大学保健医療学部看護学科)

12:30 PM - 1:50 PM

12:30 PM - 1:50 PM (Sun, Jun 12, 2022 12:30 PM - 1:50 PM 第7会場)

[EM8-01] 教育委員会交流集会 ケアとキュアの融合と継続を目指す臨床判断能力を育てる

○岩元 美紀²、近藤 ゆかり²、西村 祐枝²、路川 恵利加³、上澤 弘美³、大田 麻美⁴、益田 美津美¹、石川 幸司⁵ (1. 名古屋市立大学大学院看護学研究科、2. 岡崎市立市民病院、3. 総合病院土浦協同病院、4. 伊勢赤十字病院、5. 北海道科学大学保健医療学部看護学科)

Keywords: ケアとキュアの融合、ケアの継続性、臨床判断能力

本交流集会では、看護基礎教育、継続教育、大学院教育、それぞれの立場から、患者の生命と生活を支え段差のないケアを目指すための臨床判断能力を育む教育の工夫について紹介する。＜看護基礎教育＞看護基礎教育においては2022年度から第5次カリキュラム改正が適用される。新カリキュラムでは臨床判断能力や倫理的判断の強化などが盛り込まれ、臨床判断能力の育成は大きな課題といえる。そこで、創意工夫しながら臨床判断能力の獲得に向けて取り組んできたシミュレーション教育や新カリキュラムの計画について話題提供する。＜継続教育＞継続教育については、教育委員会で、多岐にわたる看護実践能力を獲得するための効果的な教育を検討するために文献レビューを行った。その結果、領域横断型の幅広い教育の必要性が示唆され、クリティカルケア看護はあらゆる病期を対象としていることを改めて実感したところである。そこで、継続教育に関する2施設の教育的取り組みについて話題提供する。①多くの急性期病院が、COVID-19による有事と平時の医療・看護サービスの提供を余儀なくされ、限られた人的資源の看護師が可能な限り能力を発揮できるリリーフ体制を整え、クリティカルケアに従事する看護師の育成を図る必要があったのではなかろうか。自施設において、平時から求められるクリティカルケア看護スキルは、慣習的な観察とコミュニケーションで大きな問題は生じなかった。しかし、有事を契機に新たな人間関係や業務によって臨床判断と言語化における課題が浮き彫りとなった。同時期に、集合対面教育は困難となり、教育手法はe-learningやweb、OJTが強化されていった。そこで、2021年度よりJNAクリニカルラダーに準じた評価システムを活用し、クリティカルケア分野の臨床判断能力を向上させる取り組みを開始した。一般病棟看護師と救急・集中部門看護師がともに臨床判断能力を高めることを目的に、タナーの臨床判断モデルを参考に自施設で作成した教育システム「クリティカルケアバーディング」について話題提供する。②多くの施設に違わず、自施設もCOVID-19陽性重症患者の対応のため、小児科、消化器外科、産婦人科など一般病棟の看護師が2～3か月クールでの交代体制でEICUに応援に来てもらい看護師の増員を図った。応援看護師の多くは、今まで末梢動脈ラインや人工呼吸管理患者のケアを行ったことがない状況であった。EICUでは、JNAラダーを参考に作成したEICUラダーに沿って各段階で教育を行うだけでなく、タナーの臨床判断モデルを用いたOJTを行い、ラサターの臨床判断ルーブリックによる評価を実施していた。しかし、応援看護師は2～3か月クールで一般病棟に戻ってしまうため、EICUで学び得た看護を一般病棟でも活用できるように、臨床判断ルーブリックによる評価よりも、臨床判断モデルのリフレクションに重きをおき、対話を通して教育を行った。その後、EICUから一般病棟に戻った看護師たちが、EICUで学び得た看護をどのように活用しているかについて、実際の意見を提示しながら話題提供する。＜大学院教育＞最後に、卒後教育としての大学院教育については、専門看護師コース修了者の立場から話題提供する。専門看護師教育課程は2020年度までに38単位に移行し、新教育課程基準では、ケアとキュアの融合が強調されるようになった。そこで、2年間のコースワークの中で自身の看護実践を振り返り、ケアとキュアの融合とはどういうことか、概念と実践をどのように結びつけるかといった学びについて話題提供する。話題提供を通じ、皆様とともに、明日につながる看護教育のあり方について考え、ディスカッションしたいと考えている。(ファシリテーター 中村香代、山口庸子、田戸朝美)

交流集会

[EM9] 患者をまもる 医療者をまもる 社会をまもる COVID-19委員会活動 報告と Q&A

委員会:COVID-19対策委員会

Sun. Jun 12, 2022 1:50 PM - 3:20 PM 第8会場 (総合展示場 E展示場)

[EM9-01] COVID-19委員会交流集会 患者をまもる 医療者をまもる 社会をまもる COVID-19委員会活動報告と Q&A

藤野 智子¹、○古賀 雄二²、卯野木 健³、櫻本 秀明⁴、古厩 智美⁵、塚原 大輔⁶ (1. 聖マリアンナ医科大学病院、2. 川崎医療福祉大学、3. 札幌市立大学、4. 日本赤十字九州国際看護大学、5. さいたま赤十字病院、6. 株式会社キュアメド)

1:50 PM - 3:20 PM

1:50 PM - 3:20 PM (Sun, Jun 12, 2022 1:50 PM - 3:20 PM 第8会場)

[EM9-01] COVID-19委員会交流集会 患者をまもる 医療者をまもる 社会をまもる COVID-19委員会活動報告と Q&A

藤野 智子¹、○古賀 雄二²、卯野木 健³、櫻本 秀明⁴、古厩 智美⁵、塚原 大輔⁶ (1. 聖マリアンナ医科大学病院、2. 川崎医療福祉大学、3. 札幌市立大学、4. 日本赤十字九州国際看護大学、5. さいたま赤十字病院、6. 株式会社キュアメド)

Keywords: COVID-19、スコーピングレビュー、PPE、バーンアウト

日本クリティカルケア看護学会は、2020年4月26日に「新型コロナウイルス感染症対応に従事されている保健医療職・学会関係者・市民の皆様へ」という代表理事声明を発表し、「クリティカルケア領域の医療・看護の質をまもる、医療者をまもる、社会をまもる」を理念として、活動を行ってまいりました。

COVID19に関する最新の知見を踏まえたガイドラインの作成・updateや政策提言を視野に入れた調査を行いました。更に学術団体として現場の看護師及び医療従事者のために何が出来るかを検討するために、COVID-19対策委員会を発足し、グローバル・ローカル双方の視点から最新情報に注目した情報集約を行うことを目的に研究を行いました。

2020年からの委員会活動の成果として、皆様に公開、もしくは公開予定の内容は以下となります。

1. 「COVID-19 重症患者看護実践ガイド」 2020年4月7日に初めて発出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言後、わずか5日で Ver.1を公表しました。その後日本集中治療医学会と共同で改訂し、現在 ver.3 を WEB 公開しております。
2. 「ICUにおける COVID-19 患者に対する看護 Q&A」 2020年4月24日に日本集中治療医学会が作成し、その後、本学会と共同で Ver.2改訂をしています。
3. PPE 装着に伴う医療者への有害事象、COVID-19 患者ケアを行う医療機関の看護師の心理社会的ストレス、についてスコーピング・レビュー(進行中) COVID19患者の医療提供に従事する看護師の視点から、抱える課題や有害事象を特定し、政策提言を行うための根拠資料を得るために研究を行いました。
4. COVID-19 患者のケアに携わる看護職からの相談への対応 COVID-19患者ケアについてのガイドラインやマニュアルが整備されていなかった初期の流行の頃に、施設を超えた相談を受け付けるしくみを提供しました。今回は、これら2020年度からの委員会活動について皆様にご報告するとともに、COVID-19パンデミックといわれてから2年経過して状況が変わった現在、当委員会成果物がどのように利用可能であるか、より実践に活かすための検討課題を明らかにするために、皆様からのご意見やご質問を承りたいと思います。